平成30年度 施政方針（要旨）

■市政運営の基本方針

本年度は、第六次総合基本計画の策定作業に着手する年となりました。第五次総合基本計画に掲げた「元気都市あきしま」の実現に向けて、「住んでみたい 住みつづけたい 昭島」につながるまちづくりをしっかりと進めていきます。

社会情勢が大きく変化する中、多種多様化・高度化する市民ニーズに応えていくために、新たに策定した行財政改革推進プランにおける取り組みを着実に進め、ワーク・ライフ・バランスに配意した職場環境の整備、職員の人材育成に取り組み、簡素で効率的・効果的な市政運営に努めます。

大規模な建設事業の実施や西多摩衛生組合への加入など、今後の財政需要は更に高まり、引き続き、厳しい財政環境が予想されますが、「入るを量りて出ずるを制す」を基本に、行財政の健全化と持続可能な財政運営に努めていきます。

■教育施策推進の基本方針

学校教育では、新学習指導要領にもしっかりと対応しつつ、昭島の未来を担う子どもたちが、自ら学び行動する力と、社会に主体的に貢献する力を育み、心身ともに健全・健康で、知・徳・体の調和のとれた「たくましい昭島っ子」を育成するとともに、何事にも感謝する心が養われるよう、その成長を促していきます。

生涯学習では、（仮称）教育福祉総合センターの整備を通じて、市民の自主的な学習意欲に応え、地域文化の振興を進めます。そして、文化・芸術・スポーツ活動を通じて、市民の誰もが生涯にわたり、生きる喜びや学ぶ楽しさを享受できる地域社会の実現を目指します。

■予算編成の大綱

これらの基本方針に基づく30年度予算は、第五次総合基本計画の最終年度も視野に入れ、将来都市像の完成に向けて各種施策への取り組みを加速し、快適で魅力ある「住んでみたい 住みつづけたい 昭島」の実現を目指した予算としました。

※施政方針の詳細は、「広報あきしま4月1日号」をご覧ください。

本会議において賛否の分かれたもの

○は賛成 ×は反対

件名 ＼ 会派名（）内は議員数 議長は含まれない	自由民主党昭島市議団 (6)	公明党昭島市議団 (5)	みらいネットワーク (3)	日本共産党昭島市議団 (2)	無会派 (1)	無会派 (1)	無会派 (1)	採決の結果
平成30年度昭島市一般会計予算	○5 欠席1	○	○	×	○	○	○	可決
平成30年度昭島市介護保険特別会計予算	○5 欠席1	○	○	×	○	○	○	可決
平成30年度昭島市後期高齢者医療特別会計予算	○5 欠席1	○	○	×	○	○	○	可決
昭島市介護保険条例の一部を改正する条例	○5 欠席1	○	○	×	○	○	○	可決
昭島市教育福祉総合センター条例	○5 欠席1	○	○	×	○	○	○	可決
昭島市市民図書館設置条例の一部を改正する条例	○5 欠席1	○	○	×	○	○	○	可決
市立福島会館に市の出先機関（出張所）の窓口設置を求める陳情	×5 欠席1	×	×	○	×	×	×	不採択
JR東中神駅南口の東側階段の改善を求める陳情	×5 欠席1	×	○	○	×	×	×	不採択

平成30年度予算の補正状況

一般会計（第１号）

当初予算	426億円
今回補正額	6300万円
予算総額	426億6300万円

平成29年度予算の補正状況

一般会計（第５号）

当初予算	416億円
前回までの補正額	12億7440万円
今回補正額（減額）	2億9650万円
予算総額	425億7790万円

介護保険特別会計（第３号）

当初予算	81億5419万3千円
前回補正額	2億2545万5千円
今回補正額	8001万円
予算総額	84億5965万8千円

後期高齢者医療特別会計（第２号）

当初予算	22億2118万2千円
前回補正額	4089万8千円
今回補正額	809万円
予算総額	22億7017万円

中神土地区画整理事業特別会計（第２号）

当初予算	3億2450万3千円
前回補正額	176万1千円
今回補正額（減額）	3400万円
予算総額	2億9226万4千円

平成30年度　会計別予算額及び議決結果

区分		予算額	前年度比	議決結果
一般会計		426億円	2.4％増	原案可決（賛成多数）
特別会計	国民健康保険	115億6200万円	17.4％減	原案可決（全会一致）
	介護保険	88億4962万8千円	8.5％増	原案可決（賛成多数）
	後期高齢者医療	23億2300万1千円	4.6％増	原案可決（賛成多数）
	下水道事業	29億6294万8千円	18.8％増	原案可決（全会一致）
	中神土地区画整理事業	3億9000万3千円	20.2％増	原案可決（全会一致）

水道事業会計 科目 ＼ 適用	収入 予算額	収入 前年度比	支出 予算額	支出 前年度比
収益的収入及び支出	19億3542万9千円	1.2％増	15億4932万円	0.5％増
資本的収入及び支出	4603万9千円	40.3％増	11億5859万3千円	115.7％増
議決結果	原案可決（全会一致）			

討論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

平成30年度当初予算を可決とする委員長報告について

一般会計

反対

日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員

子どもの貧困対策は喫緊の課題だが、具体的な取り組みが見えてこない。

職員数の適正化の名のもと、福祉・教育部門などの恒常的に人員が必要な職場において職員削減を進めていること、また、議場での国旗掲揚の予算化は、民主主義を貫くべき議場にはふさわしくないことなどから、本予算に反対する。

賛成

自由民主党昭島市議団　小山　満　議員

安全・安心なまちづくりへの取り組み、児童の安全対策強化事業、ごみ減量へのさらなる取り組みなど各分野で適切な予算配分がされており、都市基盤整備も着実な推進が図られている。

歳入では市債と基金のバランスにも配意し、歳出では限られた財源を最大限有効活用しており、本予算に賛成する。

賛成

公明党昭島市議団　渡辺　純也　議員

電子母子手帳システムやスクールサポートスタッフ事業の導入及び公共施設無料公衆無線ＬＡＮの環境整備の拡充などの施策が盛り込まれており、総合的な観点からも評価できる内容となっている。

住み続けたいまち昭島、住んでみたいまち昭島の構築に向け、たゆまぬ努力を願い、本予算に賛成する。

賛成

みらいネットワーク　青山　秀雄　議員

一般財源収入は大幅な増収を見込めない中、市債の借入額が約４億円の減となったことは評価する。

基地問題の取り組みの強化を国に強く求めていくこと、さらなるごみの減量化、若者施策、子どもの貧困問題、あらゆる暴力に対する相談体制などの事業に率先して取り組むことを期待し、本予算に賛成する。

5面下段へ続く